

(一社)日本家政学会中国・四国支部「令和7年度 優秀研究発表賞」の決定について

令和7年10月30日

一般社団法人日本家政学会中国・四国支部

優秀研究発表賞 選考委員長 山下広美

令和3年度より、(一社)日本家政学会中国・四国支部では、家政学に関する研究のますますの活性化や人材育成を目的に「**優秀研究発表賞**」を設けました。

今回、第71回 中国・四国支部大会（広島大会）の審査員から投票いただき、本支部大会において研究発表をされた本支部会員より次の3名(口頭発表2名、ポスター発表1名)の優秀研究発表者を選出いたしました。

(一社)日本家政学会中国・四国支部 優秀研究発表賞の授賞内規に基づき、選考委員会の議を経て常任理事会に報告し授与することを決定いたしました。受賞者には、賞状と副賞を贈呈します。受賞者の益々の研究の御発展を祈念しております。

<口頭発表>

研究発表の題目

『**担癌マウスの腫瘍領域リンパ節 T 細胞におけるナットウキナーゼの投与効果**』

倉敷芸術科学大学生命科学部 三重慧一郎 氏

研究発表の題目

『**吸湿発熱成分と蓄熱成分からなる不織布を積層することによる吸湿発熱素材の「汗冷え」防止効果**』

島根大学 高橋哲也 氏

<ポスター表>

研究発表の題目

『**若年層を対象としたロコモリスク保有の実態と生活習慣・食生活要因との関連**』

広島修道大学 山本沙也加 氏